

「ホタルの郷」にかける 熱き情熱

夕闇の川岸に瞬(またた)くほのかな光。夜のとばりが下りると、ホタルが黄緑色の光跡を描き出す。季節が春から初夏へと移り変わる頃、松山市正岡地区の「ホタルの郷」は、ホタルが乱舞する幻想的な世界に包まれる。



門前堀(もんじょぼり)の飼育スペースに、ホタルの幼虫を放流する「風早ホタル育成会」のメンバーたち



ホタルの発光はオスとメスが会うための大切なシグナル。オスもメスも光るがオスの方が明るい

産卵、ふ化を担う「里親」

「とってもきれい」「こんなにおるんや」。「ホタルの郷」のあちこちで歓声が上がります。毎年、5月下旬から6月上旬にかけて、松山市北部(旧北条市)の正岡地区を流れる院内(いんない)川は、ホタル(ゲンジボタル)を見物する人々でにぎわう。期間中は約1,000人が訪れ、西条市など、遠方から足を運ぶ人もいます。地元の公民館では、ホタルの生態を学ぶ説明会も開かれ、親子連れなど多くの人が参加しています。

かつてホタルが当たり前のように飛んでいたこの川で、もう一度、ホタルが舞う光景を子供たちに見せたい。そんな思いから、地元の青年団組織「英風会」のメンバーが中心になって「風早(かざはや)ホタル育成会」を結成。約20年にわたりホタルの郷づくりに情熱を注いでいる。

人々の目を楽しませてくれるホタルの多くは、地元の人々が「里親」になって育てた幼虫が羽化したものだ。昨年、里親を務めたのは約20人。各家庭で飼育設備を構え、

大切にホタルを育てている。ベテランの里親になると、産卵、ふ化、幼虫の育成から羽化まで、一貫して対応できる本格的な飼育設備を設置している。

ガーゼの上に卵を産ませて霧吹きでこまめに水分を与えたり、幼虫になってからは、エサになる巻貝「カワニナ」を川に取りに行ったりと、ホタ

ルの飼育は何かと手間のかかることが多い。

今でこそ院内川で数千匹ものホタルが飛ぶようになったが、「ここまで来るには苦労の連続でした」とホタル育成会の8代目会長、徳永誠一郎さんは振り返る。徳永さんらが活動を始めた頃は、まだインターネットも普及していない時代。手探りの状態からスタートし、ホタル飼育の先進地を訪れ、幼虫を分けてもらったり、基本的なことからアドバイスを受けてりしながら、挑戦と失敗を繰り返した。うまく飼育できるようになるまでに10年近くを要したという。

「子供たちがホタルを見て喜ぶ姿や年輩の人が懐かしいなあと目を細めてくれるのを見ると、諦めずに頑張っ、本当によかったと思いますよ」と徳永さんは笑顔で話す。



市内の幼稚園児たちが、院内川でのホタル観賞会にやって来る。「おいちゃん、来年も見に来るけんね」。この言葉が育成会メンバーの喜びだ



ホタルの幼虫(下)は、巻貝のカワニナ(上)をエサにして成長する



ベテランの里親の自宅に置かれた飼育設備。幼虫とカワニナが入った手づくりの水槽は、川の水辺そっくりレイアウトされ、水中ポンプで水を循環させている



ホタルのオスとメスの見分け方など、ホタル豆知識を教えてくれる説明会。ホタル観賞がより楽しくなると人気



カワニナも生息している門前堀やその周辺を清掃するメンバーたち

周辺住民の理解と協力

里親たちが育てた幼虫は、年3回、地元の正岡小学校の児童も参加して院内川に放流しているが、幼虫が無事に羽化できるのは、地域の協力があるからこそ。地元の農家は、ホタルの成長を妨げないようにと、田植え前に行っていた川の清掃や草刈りの時期を秋にずらしてくれるようになった。川沿いの住宅は、ホタルが飛び交う時期になると、門灯を消しカーテンを閉めて部屋の明かりが外に漏れないよう配慮してくれている。地域の人々が、いろいろな場面でホタルの郷づくりに一役買ってくれている。

また、正岡小学校のすぐ近くには、きれいな水が湧き出る「門前堀(もんじょぼり)」と呼ばれる泉がある。堀の一角では、育成会がホタルの卵を採取し、幼虫を育てているが、この水路にはカワニナが豊富に生息している。里親にとってカワニナを近くで簡単に取ることができるのは大きなメリット。この恵まれた環境を守ろうと、冬の寒い時期にメンバー総出で堀の清掃に精を出す。

「ホタルが住みやすい川は、人々の心も美しくする気持ちのよい川のはず。これからも地域のみんなでホタルの郷を守っていききたい」と徳永さんらメンバーは語る。こうした実績が評価され、彼らの活動は平成19年、松山市から環境保全表彰を受けた。

院内川でホタルが舞い始める時期まであと少し。人々の努力が実り、昨年以上の光のショーが見られることを期待したい。



翌年に羽化することを願いながら、正岡小学校の児童たちが、夏休みにホタルの幼虫を院内川に放流する



愛媛県 松山市

お問い合わせ

風早ホタル育成会
TEL 089(993)0459(正岡公民館)
<http://www.hime.ne.jp/~yorozu/eifu/index2.html>(英風会)

[ホタルの見頃は事前に育成会にご確認ください] ※門前堀周辺への自動車の乗り入れはできません